

八千代市の エコアクション21の取組

2020.9.19

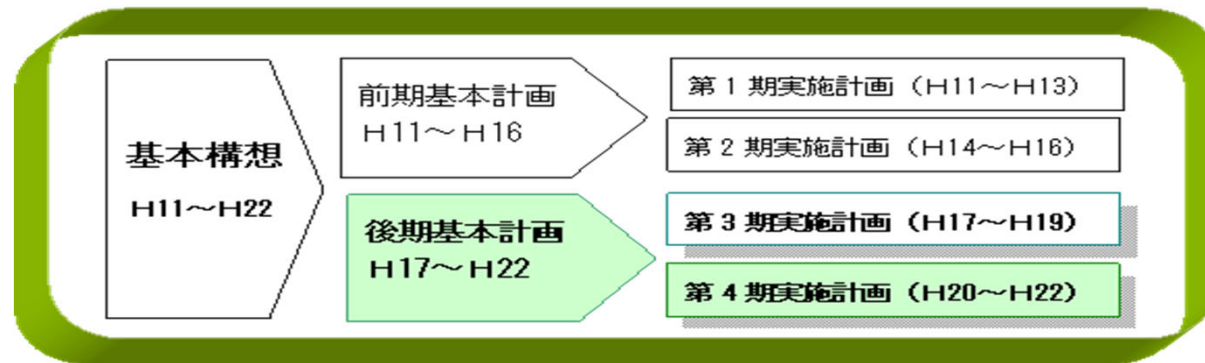
有馬富穂

市の環境施策

◆ 八千代市第3次総合計画

安全・環境共生都市をめざして⇒快適環境の創造

- ① 環境基本条例等の制定
- ② 環境保全計画の策定及び推進



第4次総合計画 H22~R2

第5次総合計画 R3~R11

- ◆ 八千代市環境基本条例(平成10年11月制定)
- ◆ 環境保全計画(平成12年3月策定)
- ◆ 地球温暖化防止に向けた「八千代市率先実行計画」(平成13年4月策定)



エコアクション21

「エコアクション21」について

1 「エコアクション21」導入の背景

- ◆ 平成13年度より、地球温暖化対策推進法に基づき「地球温暖化防止に向けた八千代市率先実行計画」を策定し、市職員が率先して温暖化防止に取り組んで来た。
- ◆ 推進体制として組織した「環境保全計画推進会議」において、進捗状況や評価を行ってきたが、目標数値の達成に至らず、取組の強化が望まれていた。
- ◆ 地球温暖化対策推進法や省エネルギー法の改正等により、さらに一層、CO₂の削減や抑制策の強化が求められるようになった。
- ◆ 市民、議会等において、環境マネジメントの構築が求められていた。

2 「エコアクション21」とは

「エコアクション21」は、環境への取組を効果的・効率的に行うシステムを構築・運用・維持し、環境への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価し、公表するための方法として、中小企業、公共機関などの幅広い事業者を対象に環境省が策定したガイドラインです。

3 認証・登録事業所数(平成21年4月末現在)

- ◆ 全国…3, 441事業所(7,696)
- ◆ 県内… 82事業所(139)
(うち、公共機関等…4事業所)

4 エコアクション21の特徴

(1) 多くの地方公共団体が取り組める環境経営システムです。

(2) 必要な環境への取組を規定しています。

○自らの環境負荷を低減する取組み

① 必須項目

CO2排出量、廃棄物排出量、総排水量

② 取り組まなければならない行動

省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクル、節水

○地域の環境保全・創造に向けた取組み

生物多様性保全、地球温暖化対策の推進

人づくりの推進

(3) 環境コミュニケーションにも取り組みます。

環境方針や環境活動レポートの公表

5 エコアクション21の取組における効果

(1) 環境面における効果

① 直接的効果

職員の環境意識が向上することにより、オフィス活動及び公共事業等に伴う環境負荷の低減を進めることができます。

② 地域への波及効果

取組成果の公表により、市民や事業者に対しても、働きかける事ができます。

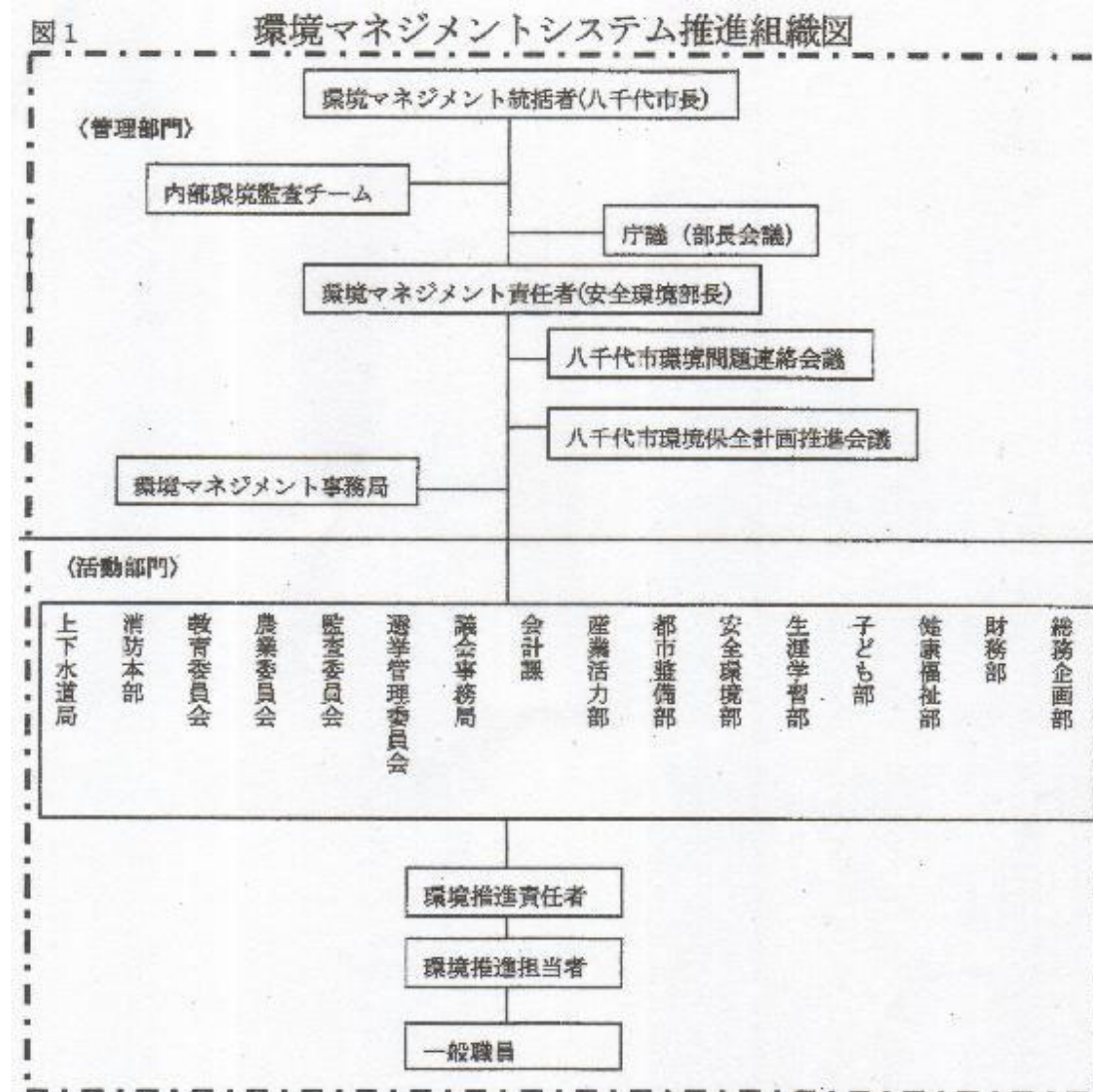
(2) 環境経営システムとしての有効性

光熱水費や紙類等の購入費が削減されることにより、行政経費の削減に結びつきます。

6 認証・登録までの経過

- 平成20年 4月～ 9月
- ・ EA21中央事務局(IGES)訪問し、指導を受ける。(4/9) (進室長、鎌形、有馬)
 - ・ 環境方針の作成
 - ・ 環境推進担当者に対し、EA21教育
 - ・ 環境マネジメントマニュアルの作成
 - ・ 仕組みづくり
- 平成20年10月～12月
- ・ 市長キックオフ宣言(12/1)
 - ・ 環境マネジメントマニュアルの運用
 - ・ 登録審査の申込み(12/3)
 - ・ 環境活動レポートの作成、公表
- 平成21年 1月
- ・ 審査人の決定
- 平成21年 2月
- ・ 事前審査(2/24)
- 平成21年 3月
- ・ 現地審査(3/9, 10)
 - ・ 内部環境監査研修(3/16)
 - ・ 認証・登録(3/30)

取組みの対象範囲:市庁舎だけでなく小・中学校などすべての市有施設を対象(指定管理者施設を除く)



市長のキックオフ宣言



地球温暖化防止は喫緊の課題となっております。

私たちは、日常の生活や都市活動のあり方を身の回りから見つめ直し、市、事業者及び市民のすべての者の協力によって、人と自然が共生し、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を目指していかなければなりません。

市は市民・事業者に率先して、自らが環境に配慮した行動をとっていかなければなりません。

これまで取り組んできた「地球温暖化防止に向けた八千代市率先実行計画」を一步進め、地域の安心・安全を含めた環境保全を総合的に推進していくため、環境省が推奨している環境マネジメントシステムである「[エコアクション21](#)」の認証・登録をめざします。全職員が一丸となって環境意識の自覚と実践を確保するとともに、地球温暖化防止に向けた環境保全活動に率先して取り組むことをここに宣言します。

平成20年12月1日

八千代市長 豊田 俊郎

展望

- 毎年、3名の審査員(第三機関)による審査が行われ、適切な助言により改善、進歩している。
県下唯一のEA21登録自治体として継続が期待される。
- ・八千代市内の企業のEA21取組普及にも努められている。
高津幼稚園はEA21取組の一環として、市民発電所第一号を完成させた。
- ・職員の地道な努力によるCO2削減には限界があるので、ゼロカーボンシティを宣言して、市庁舎のZEB化やエネルギーの地産地消などドラスティックな方策が望まれる。